

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	感情・人格心理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	津田大希	実務経験と その関連資格	臨床心理士・公認心理師として、関西福祉科学大学EAP研究所で心理支援に従事。			
《授業科目における学習内容》						
感情に関する理論と感情喚起の機序、感情が行動に及ぼす影響、人格の類型や特性等について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験の点数70％ 出席点20点 小テスト・受講態度10％						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
パワーポイントの配布資料、映像資料、PC、プロジェクター						
《授業外における学習方法》						
講義までに前回の資料を必ず復習すること。						
《履修に当たっての留意点》						
感情・人格心理学の知識は対人援助の場面で活用できます。意欲的に受講しましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	感情とは何かを理解できるようになる。		PC プロジェクター 配布資料	配布資料を確認する。
		各コマにおける授業予定	感情の定義を学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な感情理論が理解できるようになる。		PC プロジェクター 配布資料	講義前に第1回の講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	感情の抹消起源説や中枢起源説、2要因説などの古典的理論から社会文化構成主義等に現代理論を学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	感情の生物学的メカニズムを理解できるようになる。		PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	認知的評価や神経生理的評価、その表出と制御に至るまでの一連のメカニズムを学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	感情によって起きる行動が理解できるようになる①		PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	感情が判断や行動に与える影響を学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	感情によって起きる行動が理解できるようになる②		PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	感情が判断や行動に与える影響を学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	感情と身体反応との関連について理解できるようになる。	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	感情に伴う自律神経系の反応について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	人格心理学についての概要を説明できるようになる。	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	人格心理学の概念を学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティの形成に影響を与える生理的・発達の側面について理解できるようになる①	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	パーソナリティの形成に影響を与える因子について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティの形成に影響を与える生理的・発達の側面について理解できるようになる②	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	パーソナリティの形成に影響を与える因子について学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	類型論・特性論について理解できるようになる。	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	パーソナリティの理解と記述の方法として、類型論と特性論を学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ビッグファイブ特性等のパーソナリティの加齢変化や老年的超越についての知識を取得できるようになる。	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	パーソナリティの加齢変化について学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティ障害について概念と類型を理解できるようになる①	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	病的な人格特性について学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティ障害について概念と類型を理解できるようになる②	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	病的な人格特性について学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康なパーソナリティについて説明できるようになる。	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	レジリエンス等から健康なパーソナリティについて学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめと振り返りを通じて知識をアウトプットできる。	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	これまでの内容を振り返る。		